

# 県西教育事務所だより

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 令和4年11月28日発行(第6号)

Challenge  
For The Future!

## 可視化・焦点化・言語化をさらに意識し学力向上を 一本時のねらいに迫る、「焦点化」された授業をー



先月は「県西教務主任研究協議会」、今月は「管理職研修会」において、「学力向上」をねらいとした研究協議を行いました。

また、各学校の「学校改善プラン」「学力向上ロードマップ」を拝見すると、どの学校も「可視化・焦点化・言語化」を意識した授業改善に取り組んでいることが分かります。今後は、「学校改善プラン」「学力向上ロードマップ」を、再度全教職員で共通理解し、共通実践できるように、全体研修の充実をお願いいたします。

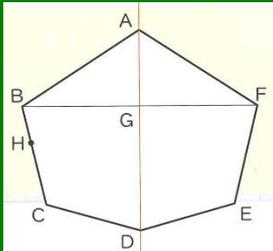
研究協議では、「発問や振り返りが焦点化されていないのではないか」という意見が多く出ていました。学習活動での視点を焦点化することで、児童生徒にとって「何について考えるのか」が明確になり、本時のねらいに迫ることにつながります。

以下に、「焦点化」された授業にするための例を挙げましたので、参考にさせていただきたいと思います。

### 算数【思考の視点の焦点化】

#### 対称な図形【6年】

**も** 下の図は線対称な図形です。対応する点を結んだ直線は、対称軸とどのように交わっているか調べましょう。



**焦点化されていない発問例**  
気付いたことをノートに書きましょう。

**焦点化された発問例**  
(4年生の時に学習した「四角形の対角線交わり方」における視点を振り返りながら)  
「交わる角度」や「長さ」についてどのようなことが言えるか調べ、気付いたことをノートに書きましょう。

**ま** 線対称な図形では、対応する点を結ぶ直線と対象の軸は垂直に交わる。交わる点から対応する点までの長さは等しくなっている。



思考の視点を焦点化することで、児童生徒から出される意見が**まとめ**に直結したものになり、**交流の視点も焦点化**されます。

### 国語【振り返りの視点の焦点化】

#### 焦点化されていない振り返りの視点例

「今日の振り返りを書きましょう。」  
(振り返りの視点)  
・がんばったこと  
・分かったこと  
・さらに考えてみたいこと



#### 焦点化されていない振り返りの記述例

「主体的に学習に取り組む態度」の視点で振り返ることも必要だが、上記のように、毎時間同じ視点ではねらいに迫れない。  
(例)「今日の授業も頑張った」「友達の意見を聞いて楽しかった」等  
→毎時間このような振り返りとなっていないか?

**ふ**

自分が使ってみたくいふ

**ま**

「れのじゅん番をくふうしたり、「くふう」という言葉を使ったり、写真をのせたりしている。

**め**

たくさんのれいをあげて書くときのくふうを見つけよう。

すがたをかえる大豆【三年】

#### 焦点化された振り返りの視点例

(「まとめ」の内容とのすみ分けと、本時の目標に迫れるように意識している視点)  
「『自分が使ってみたくい工夫について』振り返りを書きましょう。」



振り返りの視点を、本時の目標(児童生徒にどんな力を身に付け、どんな振り返りの内容を期待するか)に焦点化することで、「まとめ」の内容をそのまま書いたり、自身の学習態度のみに偏ったりせず、**明確な言葉(知識・技能)や考え(思考、判断、表現)を引き出すこと**につながります。

# 【学習指導班】 全国学力・学習状況調査の課題改善を —学力フォローアップ問題等とアセスメント問題の活用を通して—

全国学力・学習状況調査の課題改善に向けて、「学力向上フォローアッププロジェクト」を実施いたします。以下にその趣旨や内容等をまとめました。先生方はもちろん、児童生徒の実態に応じて効果的な活用をお願いいたします。

取得した問題等は、1人1台端末に保存して活用することも可

## 趣旨

全国学力・学習状況調査の課題解決に向け、各校において取り組んでいる授業改善の状況を、児童生徒の学習状況で把握し、さらなる改善に取り組むことで児童生徒の学力の向上を図る。

## 対象学年及び教科

【学年】小学校…第5学年、第6学年  
中学校…第2学年、第3学年  
【教科】国語、算数・数学、理科

## 全国調査から見える課題

- ①自分の考えを論理的に記述すること
- ②基礎的・基本的な知識・技能の定着

教育情報ネットワーク上にある各種教材（フォローアップ動画、いばらき基礎力up問題、授業名人による動画等）も適宜活用を

## 内容

「フォローアップ問題①②」の活用【12月・1月】

- ・特に「記述式」の問題については、「どのような記述ができればよいのか（記述問題のポイント）」を、児童生徒とともに一つ一つ丁寧に確認
- ・同様の問題に取り組み、児童生徒が確実に説明（記述）できるよう繰り返し指導
- ・日々の授業でも「記述問題のポイント」を意識して指導

「アセスメント問題」の実施及び報告【2月】  
小学校5年・中学校2年

- ・「アセスメント問題」の結果を踏まえた補充指導（類似問題や関連する問題に取り組む等）
- ・「アセスメント問題」の「報告資料」を参考にした指導の実施
- ・本年度の学習内容で課題が見られる内容を補充するための指導（全学年）

「フォローアップ問題③」の活用【3月】

- ・「フォローアップ問題③」だけではなく、「フォローアップ問題①②」に再度取り組んだり、自校の課題に沿った問題に取り組んだりするなど、確実な定着を図るための取組
- ・年度末の休業中に児童生徒が自身の課題に合った学習に取り組めるよう、1人1台端末を効果的に活用

## 問題等の掲載場所

教育情報ネットワーク ポータルシステム > 教育用コンテンツ > 学力向上推進プロジェクト

# 【生徒指導班】 生徒指導の3機能を生かした授業づくり —子供たちの自己指導力の育成を目指して—

令和4年度の生徒指導訪問（県西管内中学校40校、小学校4校、義務教育学校1校）も11月で終わります。訪問校の先生方には大変お世話になりました。

各校の訪問で、下記の内容を生かした授業づくりをお願いいたしました。

自己決定の場を与える授業

自ら課題を見つけそれを追究し、自ら考え、判断し、表現する授業

自己存在感を与える授業

生徒一人一人に学ぶ楽しさや成就感を味わわせることができる授業

共感的人間関係を育む授業

お互いに認め合い、学び合うことができる授業

全ての子供たちに  
出番を与える授業

自分の考え方、感じ方をもって（自己決定）、みんなの前に示し（自己存在感）、受容していく（共感的な人間関係）  
これを日々の授業の中で行うことで、子供たちの姿勢は変わります。

# 【人事課】 優秀教職員の表彰式が行われました

11月22日（火）に、県西教育事務所において今年度の優秀教職員の表彰式を行いました。次の4名の皆様が受賞されました。誠にありがとうございます。

（写真左から順に）

TOT（ティーチャー オブ ティーチーズ）

桜川市立雨引小学校 口町 紀子 教諭

優秀教職員

筑西市立竹島小学校 飯嶋 美由紀 教諭

結城市立絹川小学校 大島 寛美 養護教諭

境町立境第一中学校 小泉 敦志 係長



今後のさらなる活躍を期待しております。